



1 趣旨

公立保育園、こども療育センターにおいて、新型コロナウイルス感染リスクを軽減するとともに、利用者の利便性の向上を図るほか、事務の軽減により保育の質の向上及び職員の労働環境の改善を図るため、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金」を活用し業務システムを導入しようとするもの。

2 システムの概要

1 利用施設

公立保育園6園及びこども療育センター

※登降園時間がばらばらな保育園及びこども療育センターに先行して導入するもの。公立幼稚園への拡充は導入効果を分析のうえ検討する。

2 現状と導入後

項目	現状	導入後
登降園記録	園玄関のボードに保護者が登降園時間を手書きで記入	保護者：スマートフォンで登降園登録【非接触】 職員：登降園記録がタブレットにより共有、データ活用可能。
欠席連絡	保護者：園へ電話連絡 職員：電話対応（朝の繁忙時間帯の手作業）	保護者：欠席や延長連絡をスマートフォンのアプリで登録 職員：電話対応軽減
おたより	園だより、クラスだよりを紙で配布	保護者：スマートフォンでおたよりを確認。
連絡帳	毎日職員及び保護者が手書きで記入	保護者：スマートフォンで記入、職員：タブレットで記入。写真添付も可能。【非接触】データの活用も可能。
障害児給付費請求（療育センター）	各利用者の利用日、時間の集計が手作業。	登降園記録により集計が大幅に軽減

3 その他

- ・スマートフォン対応が出来ない保護者には、現状の対応も可能とする。
- ・気になる家庭へのフォローは、スマホのほか電話等により個別に対応。
- ・次年度以降、帳票管理オプションの追加による保育日誌や児童票等の作成作業の効率化を検討する。

3 費用負担

- ①令和3年度 2,451千円（新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用）
保育園6園2,255千円、こども療育センター196千円（月額費用1月分含）
- ②令和4年度以降 1,313千円/年

【内訳】

施設名	児童数	タブレット数	初期費用	月額費用	月額合計	R4年度以降
	R3.11.1	(クラス数+1)	タブレット@60,000	1施設あたり	(税込)	(税込/年)
大通り保育園	142	8	480,000	【システム利用料】 基本料金@5,500 登降園システム@4,400 【機器借上料】 登降園タブレット@3,300 ポケットWi-Fi@1,650 Wi-Fiルータ@770	15,620	187,440
二子保育園	110	6	360,000		15,620	187,440
口内保育園	30	4	240,000		15,620	187,440
南保育園	71	6	360,000		15,620	187,440
江釣子保育園	105	6	360,000		15,620	187,440
鳩岡崎保育園	69	6	360,000		15,620	187,440
小計	527	36	2,160,000	93,720	1,124,640	
こども療育センター	110	3	180,000	15,620	187,440	
合計		39	2,340,000	109,340	1,312,080	

4 スケジュール

- 1月 市議会臨時会議
- 2月 業者選定、契約
- 3月 機器設定、保護者への周知、広報、職員研修、試行
- 4月以降 段階的なサービス開始